

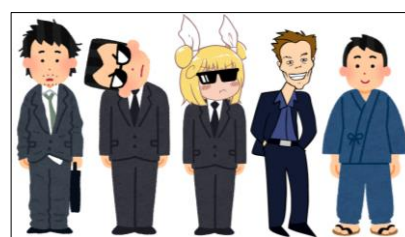
## 放送朝会「心を姿に」 11/9

先週は、本当に大切なことは、目に見えないものかも知れませんが、「心」の大切さのお話をしました。「心」は見えないけれど、「**心遣い**」は見える、「**思い**」は見えないけれど「**思いやり**」は見えます、というお話でした。

今日は、目に見えるもののお話です。この絵を見てください。この2人は誰でしょう？ どう思いますか？ ちょっとだらしない服装ですね。同じ人でも、身だしなみを整えると、こうなります。印象が全く違います。



もし、みなさんの担任の先生が、こ～んな様子だったらどうでしょうか。他にも、このような服装だったら、ちょっと変ですね。



では、この人だったらどうでしょう。富士見丘小学校にも似ている先生がいそうです。

最初の5人は、まったく先生らしくありませんでしたね。

さて、みなさんはどうでしょう？ 服装のことを気にしたことはありますか？ 毎朝、校長先生が挨拶をされていて、気になることが2つあります。この人です。

この人のどこが気になると思いますか？ 2つありますね。**ポケットに手を入れている**ことと、**フードを被っている**ことです。もし、みんな全員がこのような格好をすると、朝の登校風景はこうなります。とてもだらしない雰囲気ですね。



そして、ポケットに手を入れることと、フードを被ることに共通することは、だらしく見えるということだけではなく、危険だということです。ポケットに手を入れたまま歩くと、転んだ時に怪我をします。フードを被ると見える範囲が狭くなって、交通事故に合う確率が高くなります。今日の下校から、気を付けてください。

最近、フードを引っ張られたり、ひもが首に絡まったりする事故が増えていて、子供服に関するきまりができています。「**その服 カワイイだけで選んでいませんか**」といったホームページに紹介されています。今度お家の人と一緒に考えてみるとよいと思います。

